

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 24 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	保育園の在り方検討事業				
担当課係名	社会福祉課	課	福祉政策係	作成者 長松谷 光	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画のページ
	基本計画	子育て支援と保育体制の充実			
	主要施策	子どもの心身の健やかな成長に資する保育環境の整備			50
予算費目	一般 会計	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	1 目 児童福祉総務費	
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度		新規/継続の区分	継続	
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等	仙北市立保育園・幼稚園の在り方検討委員会設置要綱				
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市内の保育園・幼稚園児及び職員を対象。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	仙北市立保育園・幼稚園が抱える諸問題及び将来のあるべき姿について検討し、子どもが健やかに成長するための環境を整える。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	仙北市立保育園・幼稚園の今後の在り方の基本的な考え方と、それに基づく具体的な方策について検討し、仙北市及び仙北市教育委員会に提言をする。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	23年度実績	24年度実績	
効果	活動指標	検討委員会開催	目標	回	5	1
			実績	回	5	1
			達成度	%	100.0%	100.0%
	成果指標	提言書	目標			1
			実績			1
達成度			%		100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)		—	292	77	
	人 件 費 (B)		—	4,240	2,486	
	職 員 数		—	0.50	0.30	
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479	8,286	
	(A) + (B) 投下コスト		—	4,532	2,563	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	0	0
		県 支 出 金		—	0	0
		地 方 債		—	0	0
		そ の 他		—	0	0
		一 般 財 源		—	4,532	2,563
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	906,400	2,563,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	152	87	

【事務事業の今までの成果】

平成23年度に検討会議を5回開催し、ある程度の提言をまとめ、平成24年度は提言書の内容を確認して6月に提言書を提出した。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	保育園・幼稚園の法改正がある
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	提言書をまとめ提出したことに意義がある

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
E	A 現状のまま継続（実施）	提言書を提出してことで目標は達成された
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
E	事業は終了したが、提言書をふまえ保育所のあり方の具体化に向け、早急に検討していく必要があると考えます。

